

会議顛末書

						記 録 者	副主幹 鈴木 滉平	
供 覧	市 長	副市長	部 長	次 長	課 長	課長補佐	主 査 係 長	グループ員
件 名	令和5年度第3回次長会議							
年 月 日	令和5年7月21日（金）							
時 間	午前8時45分～午前10時							
場 所	庁議室							
欠 席 者	梁取総務部次長、橘原都市整備部次長							
内 容	<p>【審議事項】</p> <p>1 人口減少・少子化対策に係る考え方について[まちの魅力創造課] 資料に基づき、まちの魅力創造課より説明</p> <p>《主な意見・質疑》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の資料では、参考として松葉地区のデータが示されているが、他の地区も同様のデータがあるのであれば、施策を展開する上で活用したい。 → 他の地区のデータもある。 ・ 少子化対策について、今後の取組の方向性を整理するということだが、子育て支援の前段階として結婚に関する支援も行っていく必要がある。どのように考えているか。 → 現在、結婚に関する支援も行っているが、結婚支援と子育て支援、どちらに比重を置いて展開していくのか課内でも様々な意見がある。当課としても考えを整理しつつ、庁内関係部署に意見等を聞きながら進めていきたい。 ・ 子育て中の市職員をメンバーとした会議体を設置することだが、独身の職員を入れることは考えていないのか。結婚という観点では、子育て中の職員に限定せず独身職員の意見も取り入れた方がよい。 ・ 全国や茨城県の合計特殊出生率と比べて、龍ヶ崎市の数値は低くなっている。その原因は掴めているのか。 → 現時点では掴めていない。 ⇒ 市内のエリアごとに様々な視点で見れば、原因が見えてくるかもしれない。 ・ 市長への手紙などを見ると、「龍ヶ崎は住んでみると良い」という声が多いように思う。実際に、高齢者支援などの施策は他の市町村と比べても制度が良いが、住んでもらえていないということは、市外の方に情報がきちんと伝わっていないことが原因ではないかと考えられる。分野別に情報発信するのではなく、現在から将来に至るまで、それぞれのライフステージに応じてどのようなサポートを受けられるのか見えるような形で、全体的な情報発信が大事である。 ・ 地区ごとの人口推計をやっていくという話であったが、どのような地区で分けるのか。 → コミュニティセンターの単位になる。例として示している数値は、国勢調査を根拠としている。 ⇒ 母数が少ない地区では、現在のトレンドに合わせて推計してしまうと極端な傾向が出てしまう。そのデータを基に、地域コミュニティ協議会での活用や都市計画マスタープランへ反映していく場合の見せ方には十分に配慮が必要である。 ・ 将来推計や現実的な数値を地域の方に知ってもらうということは、非常に大切なことである。また、人口が減少することにより地域にどのような影響が出るのかという実情を参考までに伝え、人口減少対策や少子化対策の重要性を知ってもらうこと 							

も大切だと思う。

- ・ 今回設置する会議体の中で、新たな事業や既存事業の拡充について意見が出たとしても、それを今年度の中期事業計画へ反映させるとなると、スケジュールがかなりタイトになる。中期事業計画への反映スケジュールについては、注意してもらいたい。

2 地図情報システム（GIS）の推進について[デジタル都市推進課]

資料に基づき、デジタル都市推進課より説明

《主な意見・質疑》

- ・ 前回の都市計画課が付議した GIS の案件では、道路網図と埋設管類を整理したいということだったと思うが、想定している方針で可能なのか。
 - 現在、都市計画課で持っている個別 GIS の中に拡張機能を追加していくことや、新規での作成も可能である。
 - ⇒ 道路については、毎年、査定等により図面の変更が生じる。その修正の手間を軽くすることや作図ができる民間事業者がいなくなるという点で、デジタル化は必須であるということであったと記憶しているが、今回の説明内容で担当課が希望する GIS の形と整合が取れているのかが気になる。
- ・ 本件の発端は、昨年、中期事業計画の検討を進める中で、下水道台帳や道路台帳の情報をデジタル化したいという提案に対し、市として GIS に対する方向性が整理されていなかったことなどから、その点を整理した上で進めるように差し戻したところからである。
- ・ 前回、都市計画課において、個別 GIS が良いのか統合型 GIS が良いのかという点を明確にすることなどについて付議を行ったものであるが、その中で、「本来、デジタル都市推進課において現状を把握した上で、全庁的な考え方を整理すべき」との意見があり、今回、同課からの付議に至っている。
- ・ 道路台帳や下水道台帳等専門性が求められる GIS は個別システムという方向が良いと思う。紙のデータをデジタル化していく中で、当然様々な課題が出て来ることは想定されるが、その手法や運用の部分については、今後所管課が事業者と整理していくこととなる。
- ・ 今後の地図情報のデジタル化を希望した 8 課のうち、市民向けに公開を希望しないものがあるが、公開できるものは公開する方向性で進めた方が良い。

【行政経営推進会議 代替】

3 令和 4 年度第 2 次ふるさと龍ヶ崎戦略プランに係る成果報告について[企画課]

資料に基づき、企画課より説明

《主な意見・質疑》

- ・ 特になし

【その他】

- ・ 企画課より、現在各課等に調査を行っている既存事務事業の見直しについて、情報の共有があった。
- ・ 企画課より、議会において検討する旨答弁した事項について、進捗管理を行うよう依頼があった。

要措置事項

情報公開

公開

非公開（一部非公開を含む）とする理由

（龍ヶ崎市情報公開条例第 9 条 号該当）

公開が可能となる時期（可能な範囲で記入）

年 月 日